

巻 頭 言



山口県知事 村岡 嗣政

持続可能で活力ある 山口の未来を目指して

本州の西端に位置する山口県は、三方が海に開かれ、豊かな自然に恵まれています。古くから大陸文化の影響を受けながら発展してきた歴史を有し、幕末には、世界に目を向けた先人たちが新しい時代を切り拓いてきました。

本県は、こうした風土を背景に、長年にわたり海外の自治体との交流を積み重ねてきました。現在、県としては、中国・山東省、韓国・慶尚南道、スペイン・ナバラ州、アメリカ・ハワイ州と姉妹・友好提携を結び、相互理解と信頼に基づく交流を進めています。これらの交流は、行政間の連携にとどまらず、経済、教育、文化、青少年交流など幅広い分野へと広がっています。

また、姉妹・友好提携による交流に加え、広域交流を図るため、九州北部3県および本県と韓国南岸1市3道で構成する「日韓海峡沿岸県市道交流知事会議」で、地域レベルでの継続的な対話と協力を積み重ねてきました。2026年には、本県が幹事県となり、山口県内で同会議を開催する予定であり、日韓両国の相互理解の一層の深化と、将来を見据えた交流の発展につなげていきたいと考えています。

こうした交流の積み重ねの中、2027年には、山東省との友好提携45周年、慶尚南道との姉妹提携40周年、ハワイ州との姉妹提携5周年と、節目の年を迎えます。これらの周年を契機に、これまでの交流の成果を次世代につなげ、持続可能で実りある国際関係の一層の深化を図ってまいります。

一方、国際交流の進展とともに、県内で暮らす外国人住民も増加しています。本県では、2023年12月に「山口県多文化共生推進指針」を策定し、県全体で「多文化共生による地域づくり」を進めており、コミュニケーションの円滑化や安心・安全の確保のため、地域日本語教育の体制整備や相談体制の充実などに取り組んでまいりました。2025年度からは、外国人住民の地域定着・社会参画促進に向けた取り組みを推進しています。

多様な文化や価値観を尊重し合う地域づくりは、県全体の活力を高める原動力となっています。今後も、市町や関係機関などと緊密に連携し、日本人と外国人が、お互いを尊重しながら、共に地域を創る一員として活躍できるよう、多文化共生の推進に積極的に取り組んでまいります。

国際化は、地域の未来を切り拓く重要な要素です。本県は今後も、姉妹・友好提携先との関係をさらに発展させ、交流を通じて得られるネットワークや知見を生かしていくとともに、多文化共生の取り組みを着実に進めることにより、人と人がつながる地域の力を高め、将来にわたり活力ある地域づくりを推進してまいります。